

		児童館事業	学童クラブ事業
今熊野児童館	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな遊びや活動を通して、子ども一人ひとりの個性を尊重しながら、心と体の健やかな育ちを援助します。 ○子どもの意見を尊重し、生きる力を育て、自立の基礎を培えるよう支援します。 ○子育て家庭の交流を促進し、子育ての孤立化への予防を行い、福祉課題等には速やかに専門機関との連携を図るための日常的なネットワークの強化を目指します。 ○地域との連携を図り、子どもと地域住民との多様な交流を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの子どもの状況に応じた「生活力」の獲得に向けた支援を行います。 ○子どもの発達段階や固有の生活条件を考慮し「遊び」を通して情緒の安定を図り、健やかに育つことができるよう支援します。 ○保護者の就労等も含めた生活に配慮しながら、「保護者としての役割」を継続的に支援します。
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年につき新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小した活動となることもあったが、小学生を対象としたクラブ活動や行事などでは子ども同士が関わり合い思いやりを持って取り組めるよう支援していくことができました。 ○子育て家庭においては、孤立感や育児不安などを感じている家庭にも話しやすい雰囲気づくりに努め、東山区全体で行っている子育て支援の取組につなげることができました。 ○ここ数年間、地域の方と子どもたちが大勢でふれあうことができない状況だったが、今年は地域に出向いたり、近隣の高校の学生を乳幼児クラブに招いたりすることもでき、民生委員や地域女性会、ボランティアの方々、シニア卓球の方々とも交流することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、感染対策や制限を行いながらもできる範囲で班活動を行いました。班の中でゲーム大会や出し物といった遊びを行うことで、異年齢の友達関係や社交性、協調性を育む機会となり、年下の子に対する思いやりの気持ちやリーダーシップを発揮する場面にもつながりました。 ○年度末には、ICTの活用を推進するために保護者への周知やICTでの登録申請を行い、徐々にICTへの移行を進めることができました。